

(証券コード 7702)

株式会社 ジェイ・エム・エス

2024年3月期 連結決算の概要

2024年5月14日

連結：増収減益

売上高 65,292百万円(+ 1,551百万円)
営業利益 △268百万円(△ 993百万円)

- 売上： 国内はがん治療領域が増加も栄養及び透析領域の需要減退で微減、海外は血液・細胞領域が引き続き好調に推移、円安による円貨換算額の増加も加わり増収
- 利益： 原材料費や電力費の高騰に伴い一部価格転嫁を進めるものの、需要拡大に備えた海外拠点の労務費や研究開発費が増加、為替変動も利益不利に作用、棚卸資産の評価減及び廃棄損の計上もあり営業損失

システム別売上高

- 血液・細胞： 需要回復により主力の成分献血用回路や血液バッグが継続伸長
- 透析： 顧客の在庫調整により北米や中国でAVF針（血液透析用針）が減少、血液透析装置は中国向けが増加も国内の需要減退により減少し減収

地域別売上高

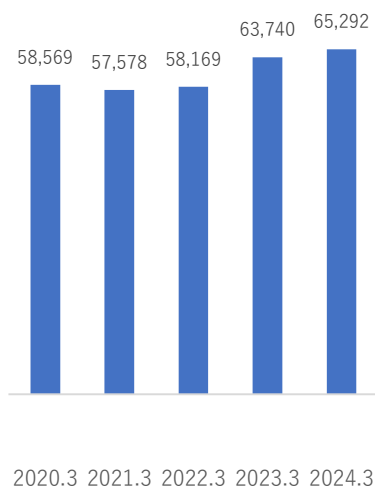
- 北米： 大手顧客向けの成分献血用回路が引き続き好調に推移
- 日本： 薬剤調製・投与クローズドシステムが堅調に推移したものの、栄養セットや血液透析装置の需要減退により減収

年間配当は1株当たり17円を予定（中間配当8.5円、期末配当8.5円）

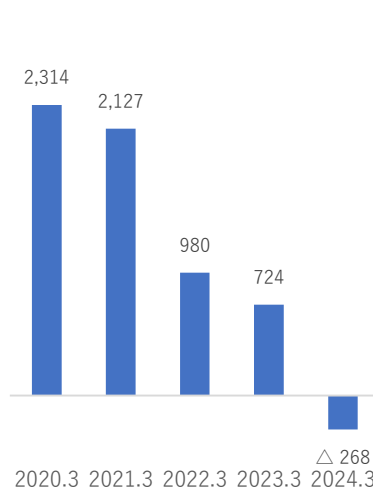
(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	増減額	増減率
売上高	63,740	65,292	1,551	2.4%
営業利益	724	△268	△993	—
経常利益	586	145	△440	△75.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	281	△36	△317	—

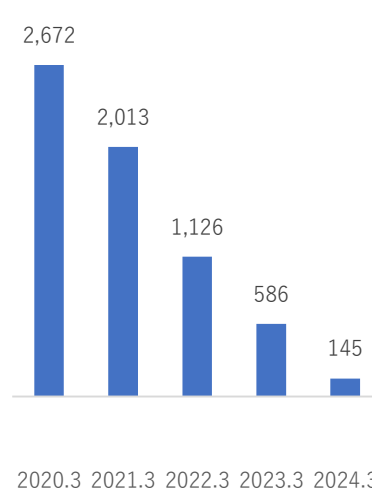
売上高



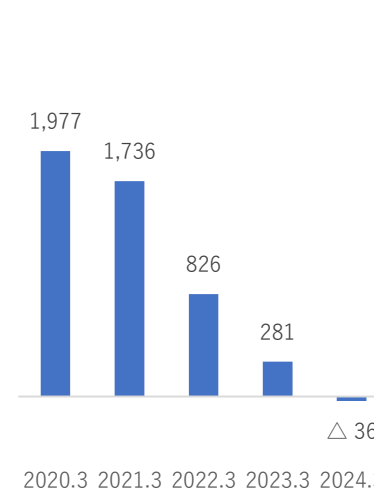
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する
当期純利益



セグメント業績（拠点別、経常利益ベース）

日本： 顧客の在庫調整により欧州向けA V F針が減少したほか、医療用手袋や栄養セット、関係会社向け設備売上が減少し減収、研究開発費の増加があるも、国内で価格転嫁を進めるほか、補助金収入や子会社からの受取配当金があり増益

シンガポール： 需要回復により成分献血用回路や血液バッグが継続伸長、原材料費や電力費の高騰、需要拡大に備えた労務費の増加のほか、為替変動も利益不利に作用し損失

(単位：百万円)

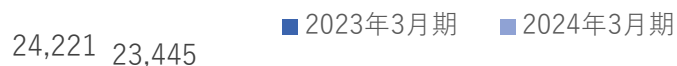
		2023年 3月期	2024年 3月期	増減額	増減率
日本	売上高	44,573	42,899	△1,673	△3.8%
	利益	378	601	223	59.1%
シンガポール※	売上高	22,558	24,180	1,621	7.2%
	利益	159	△280	△439	—
中国	売上高	4,088	3,690	△397	△9.7%
	利益	79	△84	△164	—
フィリピン	売上高	3,716	3,728	12	0.3%
	利益	85	△245	△330	—
ドイツ	売上高	3,749	4,250	500	13.3%
	利益	178	485	306	171.6%
その他※	売上高	5,376	4,042	△1,334	△24.8%
	利益	141	11	△129	△91.8%

※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。

※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでいます。

(単位：百万円)

輸液・栄養領域



薬剤調製・投与クローズドシステムが堅調に推移したものの、医療用手袋や栄養セットのほか、北米向け翼状針が減少



売上高

外科治療領域



血液濃縮器や中国向け急性血液浄化回路の減少により微減



売上高

透析領域



顧客の在庫調整により北米や中国でAVF針が減少、国内の需要減退により血液透析装置が減少



売上高

血液・細胞領域



海外需要の回復により成分献血用回路や血液バッグが継続伸長

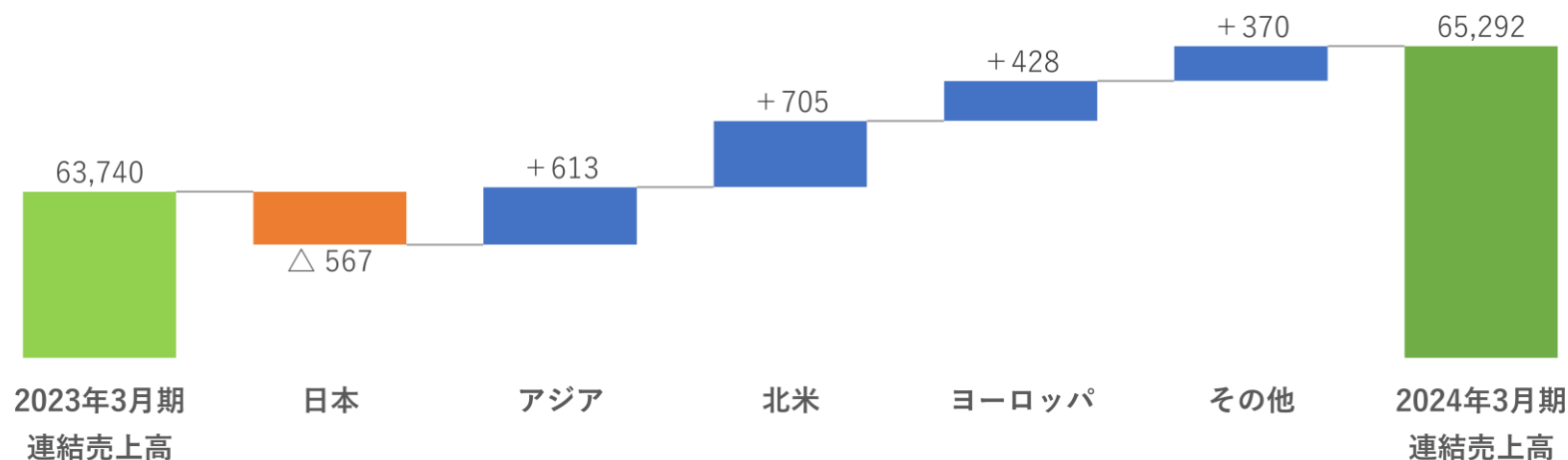


売上高

日本は栄養セットや血液透析装置の需要減退で減収、海外は顧客の在庫調整により北米や中国でA V F 針が減少するも、需要回復により成分献血用回路や血液バッグが継続伸長、中国向け血液透析装置も堅調に推移し海外各地域で増収

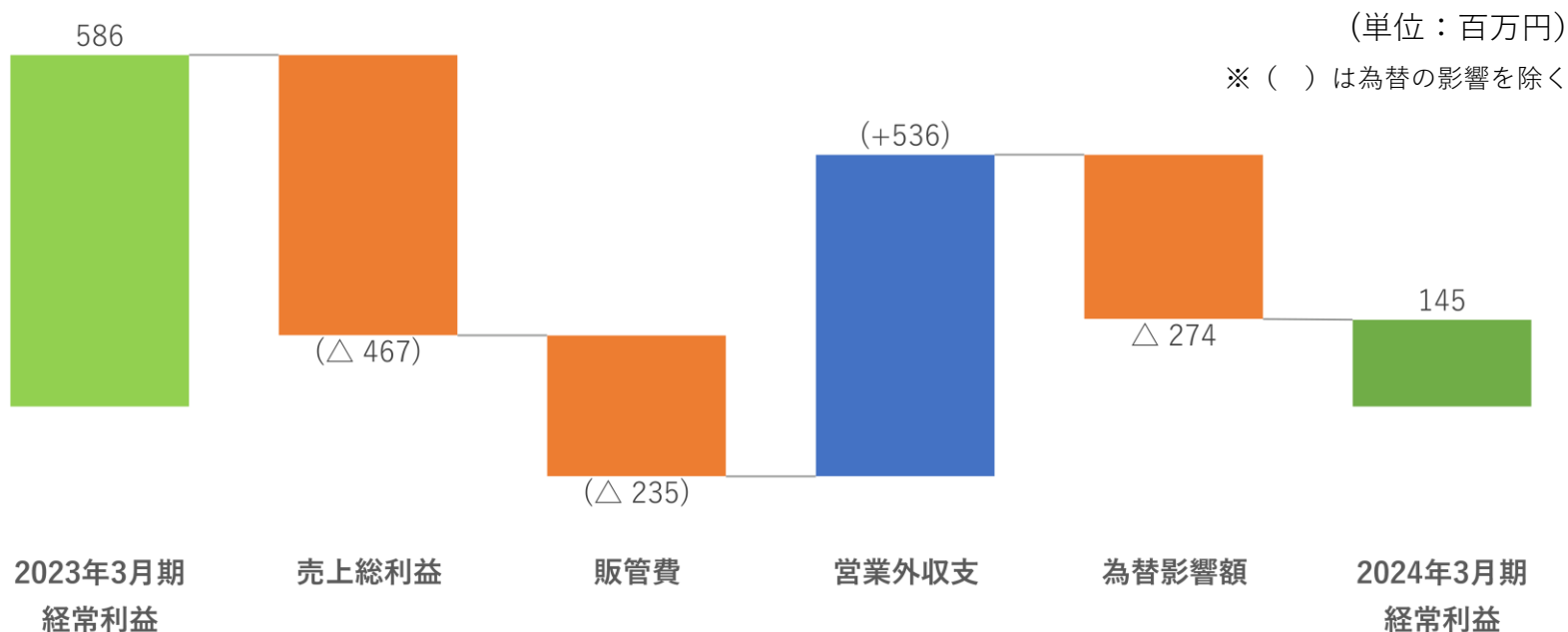
(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	増減額	増減率	売上高 構成比
日本	38,526	37,959	△ 567	△1.5%	58.1%
アジア	10,869	11,483	613	5.6%	17.6%
北米	7,293	7,999	705	9.7%	12.3%
ヨーロッパ	5,695	6,124	428	7.5%	9.4%
その他	1,355	1,725	370	27.4%	2.6%



経常利益増減要因

原材料費や電力費の高騰に伴い一部価格転嫁を進めるものの、需要拡大に備えた労務費の増加や棚卸資産の評価減及び廃棄損の計上もあり売上総利益が減少、研究開発費や販売活動費が増加、営業外では持分法による投資利益や補助金収入を計上、為替変動は利益不利に作用



為替レート (期中平均)

	米ドル	ユーロ	シンガポールドル
2023年3月期	135.47 円	138.04 円	98.62 円
2024年3月期	144.62 円	152.00 円	107.52 円

海外を中心に需要の回復や拡大が見込まれる一方、国内外で事業環境は厳しさを増し、販売における競争の激化、単価の下落、大口顧客の失客等のリスクがあるほか、国内での輸送運賃の上昇や諸物価の高騰、賃上げの実施などコストの押上げが見込まれる

このような状況を踏まえて、新中期経営計画2027のもと、コスト上昇の影響を吸収するよう価格転嫁や更なる原価低減を進める等、短期的な収益改善に取り組むとともに、社会の様々な要請に応じて中長期的に企業価値を高め、長期的耐久性を備えた会社へと変革を図っていく

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期予想	対前期 増減率
売上高	63,740	65,292	70,000	7.2%
営業利益	724	△268	800	—
経常利益	586	145	800	448.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	281	△36	400	—

※業績予想にあたっての前提として、為替レートを、
1米ドル=145円、1ユーロ=156円、1シンガポールドル=106円としております。

2024年3月

経済産業省「健康経営優良法人 2024」に認定されました

男性の育児休業取得を継続して推進し、2023年度も88.9%と高い取得率を維持しました

【取り組み方針】

- 経営者自身が率先し、健康づくりに取り組みます。
- 健康維持・増進を目的に健康課題を把握し、職場環境の改善に努めます。
- 社員自らが健康づくりに取り組める体制を整備します。



2024年5月

JAXA一般競争入札「定型化細胞培養装置クイックコネクトディスコネクト (QCD) グランド・モデル、及びフライト・モデルの製作」落札のお知らせ

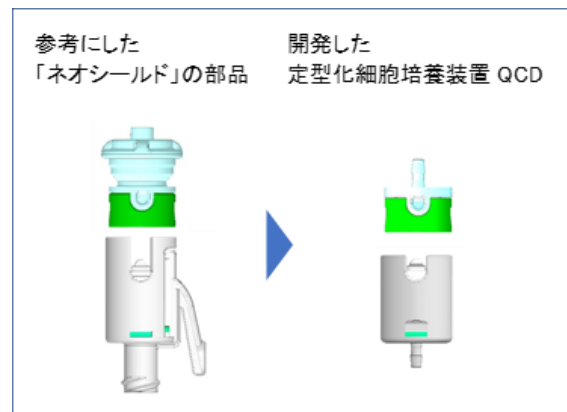
閉鎖式薬剤移注システム「ネオシールド」の技術を活かし、宇宙での細胞培養液交換デバイスを開発

2026年以降の宇宙実験に向けた技術実証研究で使用されるほか、「きぼう」日本実験棟での民間企業の研究による利用需要の増加が期待されます。

※QCD : Quick Connect Disconnect
素早く安全に装置を接続および切断する仕組み



「ネオシールド」の
接続部分





人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。